

# 四ツ葉 だより

## 謹賀新年

新春のお慶びを申し上げます。  
常日頃より当福祉会に格別のご配慮を賜り厚く御礼を申し上げます。

改正社会福祉法の施行を前に、四ツ葉福祉会も社会福祉法人の新たな仕組み作りのための準備を進めているところです。地域に根差した社会福祉法人として、その使命を果たしていくるように職員一同努力を重ねていきたいと考えています。

千支の酉のように、未来に向けて羽ばたく一年にしていく所存です。

本年も昨年にご増してご支援くださいますようお願い申し上げます。

理事長 青戸 雄一



千支張り子(酉)/授産センターよつば



No. 113  
2017.01

### ありがとうございました 第28回 四ツ葉まつり を終えて...

10月8日、朝からどしゃ降りの雨…会場の排水作業に雨除けのテント張り…しかし、なんという事でしょう！開始時刻には雨は上がり晴れ間も見えるほどに。そしてオープニングを迎えることが出来ました。

今回は、利用者さんのステージ出演機会を増やし、他団体とのコラボ（ヨツバレンジャーショー）など初の試みも実現。鹿島地域のゆるキャラ「さだがわん」も来てくれました。楽しくて、美味しいまつりがさらにバージョンアップしました。

まつり終了直後、それまで止んでいた雨がまるで見計らったように再び降り始めました。まさに、“奇跡の四ツ葉まつり”でありました。

たくさんのご協賛とボランティア協力、そして何よりも千人を超えるお客様に会場いただきましたことに深く感謝するとともに、次回も盛大に開催されるようスタッフ一同思いを新たに努めてまいります。ありがとうございました。

第28回四ツ葉まつり実行委員会 陰山宏輔





**園内職員研修 10.20**  
**発達障害者の理解と対応**  
 ～第2回ベーシックコース～

山陰発達障害当事者会スモステの会  
 発達障害児者支援サービススモステABA  
**難波寿和氏** (臨床発達心理士)

今年度当法人は、難波寿和氏をアドバイザー・講師に迎え、定期事業所相談(月1回)と園内職員研修(年2回)で、更なる支援のスキルアップを目指しています。

難波さんからの

**Question**

研修の話を聞いて明日からの支援でできそうなことは?

**Answer**

職員のアンケートより

- ・「良い行動があれば誉めましょう、できないことがあれば手伝いましょう」を心に置いて接すること。
- ・「支援に迷ったら、もう一度アセスメントやデータ整理をしてみる」を実践する。
- ・抽象的な問いかけをしない。日頃、「大丈夫?」と言ってしまうこと等多々あり反省…。
- ・「視覚を使った指示(図など)については、人それぞれ個人差があり、その方にあったものが必要」ということを留意して支援する。
- ・「具体的なエピソード記録を取る」、「数字を出す、スピーディに」を実践する。

**— 島根県障がい者アート作品展 佳作 —**



「さをり織り」和田涼香さん(やすらぎの家)



「マット」草野直子さん(やすらぎの家)

表紙:タイトルバック



「夕陽」共同制作(やすらぎの家)

**研修報告** 研修で得たこと



今年度もこれまでに多くの研修を受講しました。その報告の中から、一部抜粋してご紹介します。

『アンガーマネジメントと感情労働』に“目からうろこ”

— 中・四国身体障害者施設協議会研修 廣瀬一郎氏講演より —

まず、私の研修後の思いは、「怒りをモチベーションに変えることで建設的なエネルギーに変換できるように心がけたい」でした。

障害者施設で行う支援・サービスは「感情労働<sup>\*</sup>」という第三の労働形態です。利用者様に安心感を与え、心を安定させてくれるという商品化された感情労働。労働者と顧客の間でやり取りされる感情には商品価値があり、上司と部下の間柄も同様で、ともに大事にしないと商品価値を落とすことになります。感情を商品化した上で自分の立場に立ち、相手の立場になって考えようと努力する姿勢が共感的理解を生む、ということを念頭に置いて業務に携わりたいと思います。(大峠直美)

<sup>\*</sup>【感情労働】自己もしくは他者の感情を扱い、かつ感情制御(=管理)に基づいて自他の感情をコントロールする労働。感情を適切な形へと作り変えて労働を行い、賃金に変えるもの。

ソフト食を試作してみました!

“いつまでも食の楽しみを”

—『おいしい介護食「ソフト食」調理実習』研修—

高齢化に伴い、噛む力、飲み込む力が低下し、今まで食べることができた食事が食べづらくなります。「ソフト食」とは、舌で押しつぶせる硬さで、口の中でまとまりやすくスムーズに飲み込むことができる、「刻み食」に代わる新しい食事形態です。

現在、当施設では、「大刻み～とろみ食」までの形態ですが、今後「ソフト食」への移行も考えています。今後も利用者の皆様に安全だけでなく“食の楽しみ”も考慮した食事サービスを提供していきたいと思ひます。(三好彩香)



連載 第5回  
冬の昼食編  
よつば精製立の  
お品書き

★ごはん 南蛮漬け：シイラ、玉ネギ、人参  
味噌汁：☆味噌、大根、人参、ごぼう、しいたけ、豆腐 漬物：☆大根 パイン  
煮しめ：里芋、人参、干しいたけ、さやえんどう  
流し卵：卵、しいたけ、人参  
★は地元古志町の食材 ☆は加工班で作られた食材



「四ッ葉の手造り味噌」



地元産の大豆を使用。  
麴も米から製麹し、  
味噌蔵でじっくりと  
熟成発酵させています。

古志町は好む川、柿原池という「水」に恵まれた豊かな土地。中古志、下古志地区の美味しいお米、野菜がよつばの食卓を豊かにしてくれています。

栄養士より

風邪予防のために腸内環境を整えて、免疫力（カラダの抵抗力）を上げましょう。腸内環境を整えるには、善玉菌を増やして悪玉菌を抑えることです。善玉菌を増やす食材は、ヨーグルト、チーズ、味噌、納豆、キムチなどの乳酸菌を多く含んでいるものです。

四ッ葉園の食品加工場で製造した味噌とキムチを食べ、風邪をひかない体作りをしていきたいと思えます。

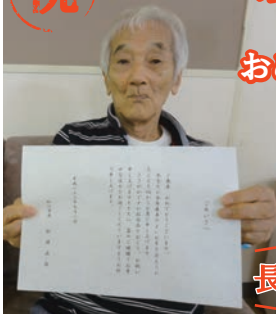
《栄養士ワンポイント＝青木管理栄養士》

“味噌”が腸内環境を整えてくれます！

味噌に含まれる乳酸菌は腸内を弱酸性に保ち、悪玉菌を減らし善玉菌を増やします。また、味噌に含まれるオリゴ糖は善玉菌の栄養となるため、善玉菌の活動をサポートします。味噌を食べることで、腸内環境が整い、免疫力がアップして風邪予防になります。

Hotsuba Topics 秋から冬にかけて行なわれた行事をトピックスで紹介します

祝



米寿を迎えられた大野さん

米寿・還暦・成人を  
迎えられた皆様  
おめでとうございます

還 暦 5名  
成 人 5名

長寿よつば<sup>イチ</sup>!!



一畑電車でフォーゲルへ  
(10月14日)

地元、古江公民館主催  
「根っ子のつどい」の遠足に  
9名が参加しました。  
絶好のお出掛け日和に笑顔！



16名が参加しました。  
ピカピカの体育館で思い切り  
体を動かし、交流しました。

楽しく 運動！  
『ナイスハートふれあい大会』  
(11月7日松江市総合体育館)



【JR松江駅南口から徒歩1分】  
よつばのパン工房「くるん」

『おかげさまで5周年』

パン、加工品の他によつばの  
クラフト製品コーナーができた  
ました。  
ぜひ、お立ち寄りください！



くるん店内の様子



さすまた  
防犯指導・刺股訓練  
(12月8、14日)

防犯意識を高め、利用者様の安全を守るため、松江  
警察署から講師を招き、訓練を行ないました。



連載  
第6回

# 四ッ葉アーカイブズ



30年の膨大な記録＝写真から、「懐かしさ」だけではなく、「未来に」つなげたい1枚をご紹介します。

Yotsuba Archives vol.6

## 地域生活のお試し場＝[暮らしの家]

—その家は、ごく普通の空き家でした—  
四ッ葉園内での流れができて、必要な支援さえあれば地域で生活できると確信、次の生活の場を考えたい…でも不安ありという時期。  
地域生活を試し、失敗しても大丈夫な場所が欲しい！という願いに、この空き家はジャストミート！  
ついに生活実習「暮らしの家」が実現。  
四ッ葉園内では見られなかった表情・会話・意外な一面。全てが貴重な体験であり、必要な支援を見直す機会となり…。地域生活への取り組みの第一歩が始まった。  
そして、重度の利用者さんは職員と一緒に「お泊り体験」を楽しんだ。園から徒歩3分の旅のように。  
今、「暮らしの家」はグループホームに。  
でも、今も「お試しの場」って、欲しい事業じゃないのかな？



\*アーカイブ＝記録を保存・活用し、未来に伝達することの意

## 行事予定

2017年1月～2017年3月



1月	25日(水)	工賃支給
1月	31日(火)	授産会議

2月	10日(金)	全体集会
	24日(金)	四ッ葉福祉安全の日、工賃支給
	28日(火)	授産会議
3月	10日(金)	全体集会
	14日(火)	授産会議
	24日(金)	理事会、評議員会、工賃支給
	期日未定	春のディナーパーティ

## 相談窓口

四ッ葉園…1件  
授産センターよつば…1件

### 【家族様より】

『着衣が気候に合っていない(例…冬なのに肌着が半袖)』との指摘がありました。  
早速状況を確認し、対応職員の感覚で着替えをしていることがわかりました。ご本人の状況(年齢や体調等)をよく考慮し、着替えを行うよう職員全体に周知しました。

### 編集後記

穏やかな気候で新年を迎えましたが、冬将軍到来。山間部では大雪となりました。さて、様々な出来事があった二〇一六年でしたが、二〇一七年は酉年。力強く羽ばたくが如く、皆様にとっすばらしい一年となりますよう、お祈り申し上げます。そして本年も四ッ葉福祉会をよろしくお願致します。

四ッ葉だより No.113  
平成29年1月20日発行

発行所  
社会福祉法人 四ッ葉福祉会  
〒690-0121  
松江市古志町 1551-4  
TEL: 0852-36-8877  
FAX: 0852-36-8894  
URL:  
<http://www.yotsubaen.or.jp/>

編集・印刷  
四ッ葉福祉会広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。